

2023年度(53期) 環境経営レポート

2023.5~2024.4

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT  ALS

Matsumura Alloy Dies Laboratory Co., Ltd. Environmental Activities Report



株式会社 松村合金ダイス研究所 2024年5月31日

2023年度環境経営レポート 目次

- ご挨拶 経営理念 P 3
- 環境経営方針 品質方針 P 4～5
- EA21実施体制図 P 6
- 組織の概要 P 7
- 主な環境目標及びその実績 P 8～9
- 環境活動の取り組み計画と評価 P 10～12
- CO2排出量の
構成比・実績及び計画値グラフ P 13～16
- 環境関連法規制等の順守状況 P 17
- 代表者による
全体の評価と見直し、指示 P 17
- 様々な活動（3S－S活動・火災訓練） P 18～20
- カーボンニュートラル
に向けたわが社の取り組み P 21



ご 挨 拶

株式会社 松村合金ダイス研究所

代表取締役 松村 謙三

ごあいさつ

今年度は昨年に引き続き大変な年になりそうです。一番にはウクライナとロシアの問題とイスラエル・パレスチナの中東情勢です。これにより食料やエネルギー価格を中心とした市場価格はますます高騰が進みます。併せて円安が進んでいることで輸入される食料や石油等の価格の高騰もますます進んでいきます。これらが私たち中小企業にとっての経営に大きく影響します。この影響を少しでも改善するために現在取り組んでいます「環境経営マネジメントシステム」をより一層前進させて企業業績の改善を図って行きます。また環境面においては、SDGsの取り組みを進めてCO2削減への努力をして参ります。

経 営 理 念

- 一、私達は心豊かな生活をおくる為の会社づくりを目指し、共に悩み、考え、学び、喜べる関係を作ります。
 - 一、私達は日々進歩する技術に積極的に取り組み、お客様からの信頼を得るもの創りを行い、共に事業の永続的繁栄を目指します。
 - 一、私達は「もの創り」を通して、地域社会と共に歩める会社創りを考えます。
-



株式会社 松村合金ダイス研究所

環 境 経 営 方 針

＊ ＊ 環 境 理 念 ＊ ＊

地球環境を維持するために、「私たちができる、小さな努力です」運動を展開し、私たちが作り出す樹脂押出成形金型を通じて、お客様が環境にやさしい製品を創造することにより、社会貢献とともに、地球環境保全を意識した企業作りを構築し、循環型及び低炭素社会の一翼を担っていきます。

＊ ＊ 環境保全への行動指針 ＊ ＊

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（工場、事務所）
- ・ 自動車燃料（社用車）
- ・ 灯油

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

- ・ 一般廃棄物（可燃ごみ）
- ・ 産業廃棄物（金属くず、廃油）

③排水量の削減（水資源の保全）

- ・ 一般水道水

④社会貢献

- ・ 製品やサービスの環境配慮と生産性向上により社会貢献につとめる
- ・ 地域での環境活動への積極的な参加（事業所周辺の清掃等）

⑤化学物質の管理

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月8日

改定日：2023年10月3日

署名 代表取締役社長

松村 謙三

品 質 方 針

当社は全てのお客様の期待に応える質の高いサービスの提供をする。

顧客満足の絶え間ない向上を目指し、製品、そしてサービスの継続的改善を実践する。

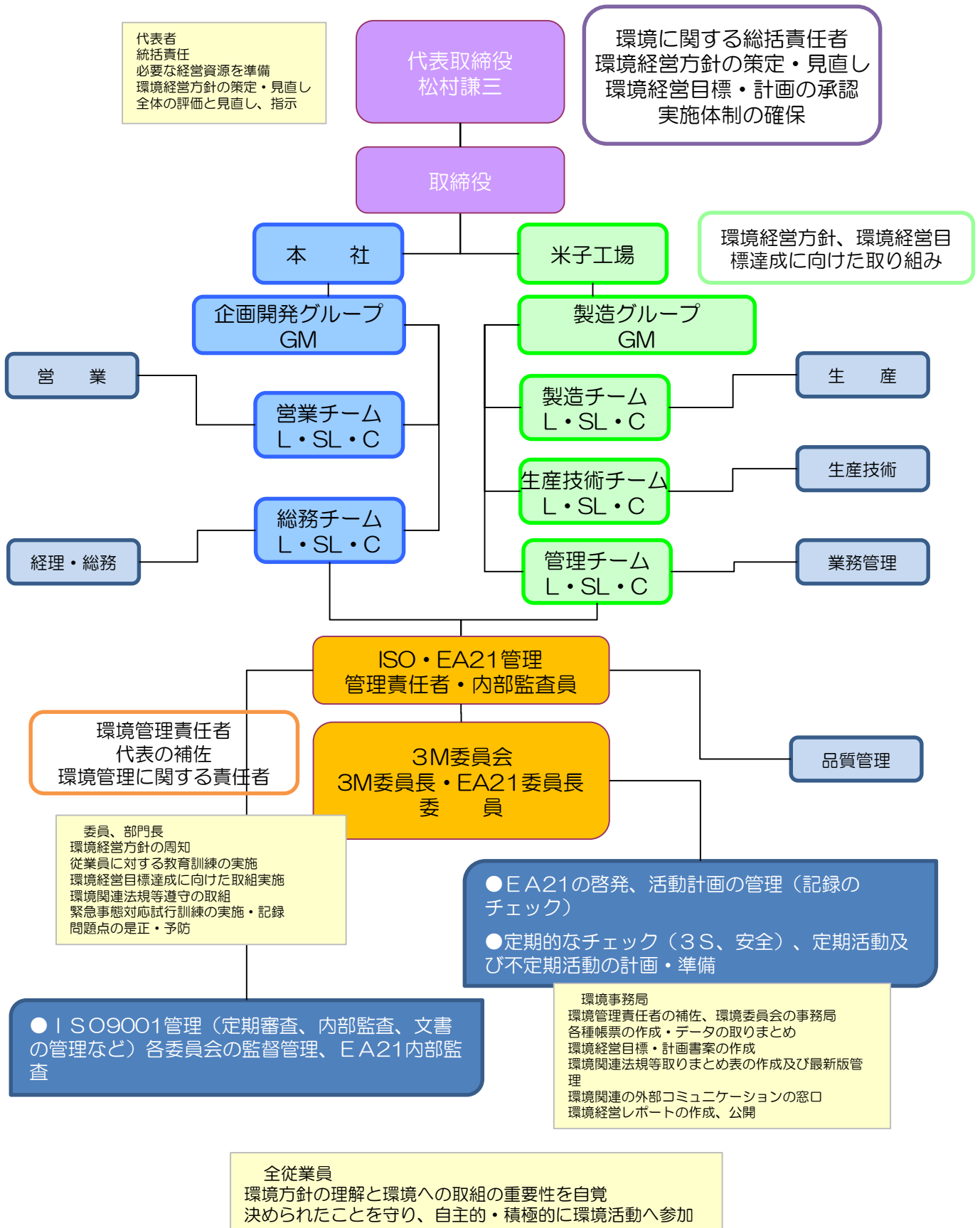
当社の業績向上は、当社の品質管理マネジメントシステムの枠組みに基づく業務の実行、業務に求められる基準の理解、業務プロセスの改善、及び絶えず高められる品質目標を満たす事により獲得できる。

制定 2006年6月1日



JQA-GMA
13544





□組織の概要

1.事業署名			
株式会社 松村合金ダイス研究所			
代表取締役社長 松村謙三			
2.所在地			
本 社：大阪府東大阪市豊浦町2番2号			
米子工場：鳥取県米子市和田町1305番地			
Webサイト： https://matsumura-die.co.jp			
e-mail： info@matsumura-die.co.jp			
3.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先			
環境管理責任者：取締役 松村 幸俊			
電話：072-988-3059 F A X：072-986-8643			
4.事業内容（認証・登録の範囲）			
電線及びチューブ用の樹脂押出成型金型の設計及び製造			
5.事業の規模			
	本 社	米子工場	合 計
社員数	7名	11名	18名
延べ床面積	330㎡	765㎡	1095㎡
6.事業年度			
5月～4月			

□主な環境負荷の実績（全社）

項 目	単位	目標数値	2023年度 実績
二酸化炭素排出量（対象：エネルギー総量）	kg-CO2	46,705	46,886
一般廃棄物量排出量	kg	456(本社) 506(米子)	405(本社) 460(米子)
産業廃棄物排出量	kg	230	0
総排水量	m³	352	288

□環境目標及びその実績 ※項目の番号は環境経営方針・環境保全への行動指針の番号

年 度 項 目			実績			目標	実績	目標	
			2020年	2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2025年
			上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
			中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
			下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
①電力の二酸化炭素 排出量削減 [排出係数] 本社：0.434 米子：0.552 ※2021年度は係数が 違うので注意	kg-CO2		39,938	41,149	35,660	35,589	34,578	34,509	34,440
			8,459	8,009	4,425	4,417	4,252	4,243	4,235
			31,479	33,140	31,235	31,172	30,326	30,266	30,205
	前年度対比		101%	103%	86.7%	99.8%	97.0%	99.8%	99.8%
使用電力量	kWh	本社	15,521	14,695	10,197		9,797		
		米子	57,760	60,807	56,585		54,939		
①ガソリンの二酸化 炭素排出量削減	kg-CO2		6,508	6,518	7,587	7,571	8,167	8,151	8,134
			5,751	5,828	6,956	6,943	7,530	7,515	7,500
			757	690	630	629	637	636	635
	前年度対比			101%	116.4%	99.8%	107.7%	99.8%	99.8%
①灯油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2		3,025	3,999	3,552	3,545	4,141	4,133	4,124
			1,164	1,253	806	804	672	671	670
			1,861	2,746	2,746	2,741	3,469	3,462	3,455
	前年度対比		143.8%	132.2%	94.2%	99.8%	116.6%	99.8%	99.8%
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2		49,471	51,665	46,799	46,705	46,886	46,792	51,665

年 度 項 目		実績			目標	実績	目標	
		2020年	2021年	2022年	2023年	2023年	2024年	2025年
		上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄	上段：総轄
		中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社	中段：本社
		下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子	下段：米子
②一般廃棄物の削減 本社	(kg/年)	468	491	457	456	405	404	403
	前年度対比	109.8%	104.8%	93.2%	99.8%	88.5%	99.8%	99.8%
②一般廃棄物の削減 米子	(kg/年)	620	420	510	509	460	459	458
	前年度対比	72.9	67.7%	121.4%	99.8%	90.2%	99.8%	99.8%
②一般廃棄物総括	(kg/年)	1,088	911	967	965	865	863	861
	前年度対比	85.2%	83.7%	106.1%	99.8%	89.4%	99.8%	99.8%
②産業廃棄物（金属くず）の削減 ・大成商事 米子	(kg/年)	1,860	2,532	2,210	2,206	2,155	2,151	2,146
	前年度対比	85.3%	136.1%	87.3%	99.8%	97.5%	99.8%	99.8%
②産業廃棄物（混合）の削減 ・山陰クリエート 米子	(kg/年)	0	0	230	228	0		
	前年度対比	—	—	—	99.0%	—	99.5%	99.5%
③水道水の削減（節水）	(m³/年)	408	396	353	352	288.0	287.4	286
		116	106	69	68.9	65.0	64.9	65
		292	290	284	283.4	223.0	222.6	221
	前年度対比 本社	102.6%	91.3%	89.1%	99.8%	81.6%	99.8%	99.5%
	前年度対比 米子	118.2%	99.3%	65.1%	99.8%	94.2%	99.8%	99.5%
④社会貢献 製品・サービスへの環境配慮（修理金額）千円	本社	2,894	1,828	1,857	1,557	1,635	1,717	1,828
④社会貢献 社会貢献として工場周辺の清掃を致します	(年)	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回	(本社) 48回 (米子) 2回

＊上記の他化学物質管理を実施しています。
 ＊数値は自動計算値を使用のために一の位は変動します。
 ＊都市ガス・LPGは含まず
 ＊表の数値は自動の計算の為、一の位の数値が正確でない場合があります

□2023年度 環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 前年度比	評価と次年度の取り組み計画
①電力の削減 ■ 節電運動展開 ■ 不要照明の消灯 ■ クールビズ・ウォームビズ運動 ■ 工程ロス削減による稼働時間短縮 ■ 標識・表示による啓発 ■ 冷房28℃ 暖房20℃（基準温度計設置）			k g-CO2	■ 本社：目標達成 本社は基本的に冬場は灯油優先で、夏場はエアコンによる温度調節ですので、その時の気候、気温差による変動は仕方ないところです。意識的には十分に管理して貰えていると考えます。 ・次年度目標→99.8% ■ 米子工場：目標達成 エアコンの温度設定の成果により、節電できた。 ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価 売上高97.0%に対し96.9%なので、妥当な推移と考えられる。
	目標：総轄	35,589	99.8%	
	目標：本社	4,417		
	目標：米子	31,172		
	実績：総轄	34,578	96.9%	
	実績：本社	4,252		
	実績：米子	30,326		
①ガソリンの削減 ■ アイドリングストップ ■ 急加速・急停車の防止 ■ 燃費のよい車の購入（更新時） ■ 公共交通機関の利用促進 ■ 表示による啓発			k g-CO2	■ 本社：目標未達成 確かにコロナの収束からくる営業活動の活性は上がってきています。工場への出張は減っていますので、この状況は営業活動が増えたためと考えられます。長距離に関しては燃費の一番良い車で走っています。本来であればハイブリット等の車両に乗り換えることが望ましいのですが、現在の状況では無理があります。今後の検討課題です。 ・次年度目標→99.8% ■ 米子工場：目標未達成 使用量が多くなった 使用者が増えたのも要因と思われる ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価 売上高97.0%に対し107.7%。移動が増えてきているので増えるのは仕方ないが、売上がそれに見合っていない状況。
	目標：総轄	7,571	99.8%	
	目標：本社	6,943		
	目標：米子	629		
	実績：総轄	8,167	107.7%	
	実績：本社	7,530		
	実績：米子	637		
①灯油使用量の削減 ■ 表示による啓発 ■ 基準温度計を元に室温管理 ■ ウォームビズの推進			k g-CO2	■ 本社：目標未達成 意識の向上が続いているのと、本社製造部門の廃止、エアコンとの併用が聞いているのでしょうか。 ・次年度目標→99.8% ■ 米子工場：目標未達成 気温が低かった為、使用量が多くなった ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価 売上高97.0%に対し116.6%。体調にもかかわる部分なので増加は仕方ないが、それに見合った売り上げを確保していきたい。
	目標：総轄	3,545	99.8%	
	目標：本社	804		
	目標：米子	2,741		
	実績：総轄	4,141	116.6%	
	実績：本社	672		
	実績：米子	3,469		
②一般廃棄物の削減 ■ 裏紙使用 ■ ミスコピーの防止 ■ 分別による古紙のリサイクル化 ■ 両面印刷用プリンタ購入 ■ マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進			kg	■ 本社：目標未達成 一般廃棄物に関しては3s活動も一取り終、今はメンテ状態なので今後極端に増えること減ることないと思います。意識としてごみを出さないという事を心がけていきましょう。 ・次年度目標→99.8% ■ 米子工場：目標達成 排出量を少なく出来た ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価 売上高97.0%に対し、本社88.5%、米子工場90.2%。無駄を減らす意識が出来ていると感じます。
	目標：本社	456	99.8%	
	実績：本社	405	88.5%	
	目標：米子	509	99.8%	
	実績：米子	460	90.2%	

取り組み計画	達成状況		単位 前年度比	
②産業廃棄物（混合）の削減			kg	■53期は排出無し （排出が2年に1回程度のため）
	目標：総轄	228	99%	
	目標：米子	228	99%	
	実績：総轄	0		
	実績：米子	0		
③水道水の削減 ■節水呼びかけ ■シャワーノズル取り付け ■表示による啓発 ※基準年度及び数値			m ³	■本社：目標n達成 水道水に関しては全く問題が無いと思います。 大きな3S活動もしばらくする計画はありませんのでこの状況のままでOKです。 ・次年度目標→99.8% ■米子工場：目標達成 節水意識の成果により、節水できた ・次年度目標→99.8% ◎原単位評価 売上高97.0%に対して、本社81.6%、米子94.2%。節水は十分意識できている。
	目標：総轄	352		
	目標：本社	68.9	99.8%	
	目標：米子	283.4	99.8%	
	実績：総轄	288.0		
	実績：本社	65.0	81.6%	
	実績：米子	223.0	94.2%	
④製品・サービスへの環境配慮と生産性向上				■目標未達成 ここ数年来の課題であるマンパワー不足の解消のためあらゆるところに取り組んでいるが中々成果が上がらない。足らずの部分を地域連携、企業連携も進めているが実績の件数は上がっているがその分費用も大きく発生している。
製品・サービスへの環境配慮 ■修理品販売高 管理場所 本社			(千円)	■目標達成
	目標：総轄	1,857	101%	
	目標：本社	1,858		
	実績：総轄	1,557	83.8%	
	実績：本社	1,557		
社会貢献 ■工場周辺の清掃 本社 ■工場周辺の共同清掃 米子	本社目標	毎週		■目標達成
	実績	毎週	100%	
	米子目標	年2回		
	実績	2回	100%	

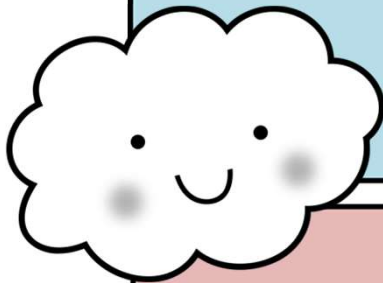
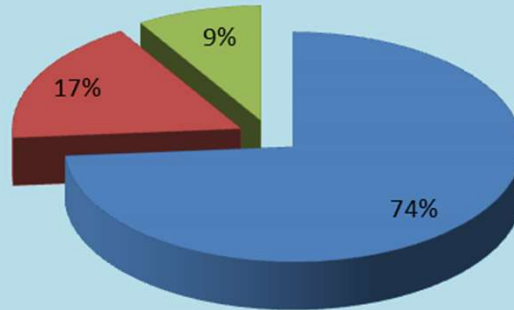
取り組み計画	取り組み結果	
⑤化学物質の管理 （コバルト及びその他無機化合物の管理） ■管理場所 米子工場	健康診断	作業担当者は年2回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	作業主任者選任	
	発散抑制装置設置	
	作業記録の30年間保管	
	2013年1月1日付けで施行された、労働安全施行令等の一部改正により、特定化学物質の第2分類として「コバルト及びその他無機化合物」が新たに追加された。	
その他 （粉じんの濃度測定の管理） ■管理場所 米子工場	健康診断	作業担当者は3年に1回実施
	環境測定	工場内環境測定を年2回実施
	発散抑制装置設置	
その他 （フロン排出抑制法） ■管理場所 本社、米子工場	簡易点検：3カ月に1回 定期点検：7.5kW～50kWの空調機3年に1回以上	

2023年度 CO2排出量の構成比



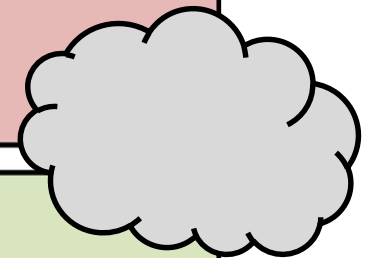
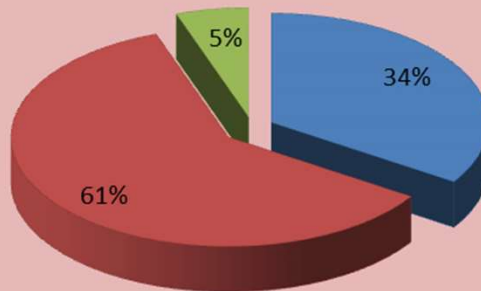
2023年度CO2排出量総括

■ 電力の二酸化炭素排出量 ■ ガソリンの二酸化炭素排出量 ■ 灯油の二酸化炭素排出量



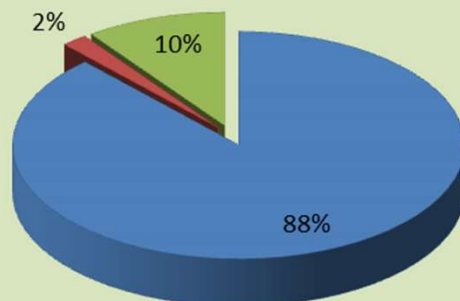
2023年度 本社CO2排出量

■ 電力の二酸化炭素排出量 ■ ガソリンの二酸化炭素排出量 ■ 灯油の二酸化炭素排出量



2023年度米子 CO2排出量

■ 電力の二酸化炭素排出量 ■ ガソリンの二酸化炭素排出量 ■ 灯油の二酸化炭素排出量

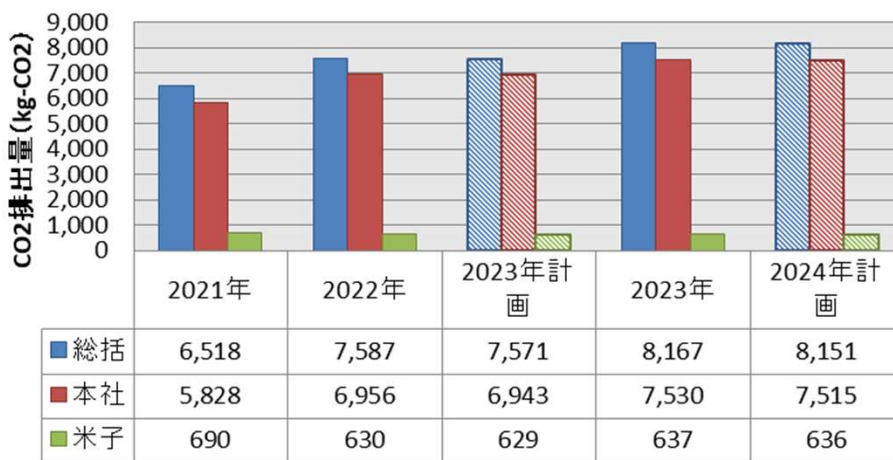


2023年度 実績及び計画値グラフ

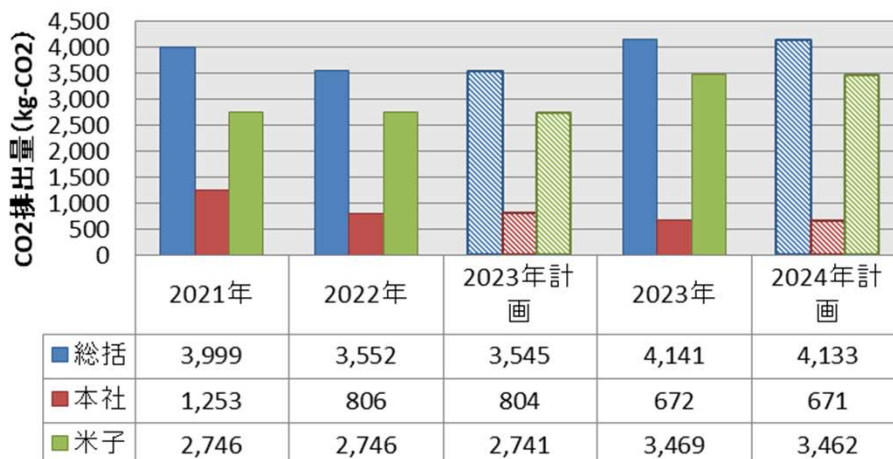
電力の二酸化炭素総排出量



ガソリンの二酸化炭素総排出量



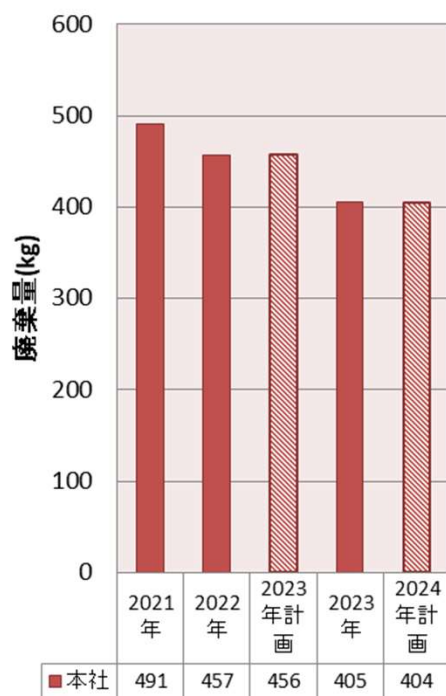
灯油の二酸化炭素総排出量



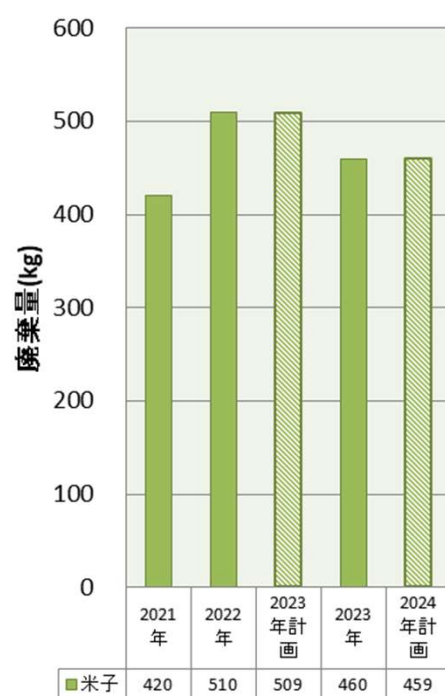
2023年度 実績及び計画値グラフ



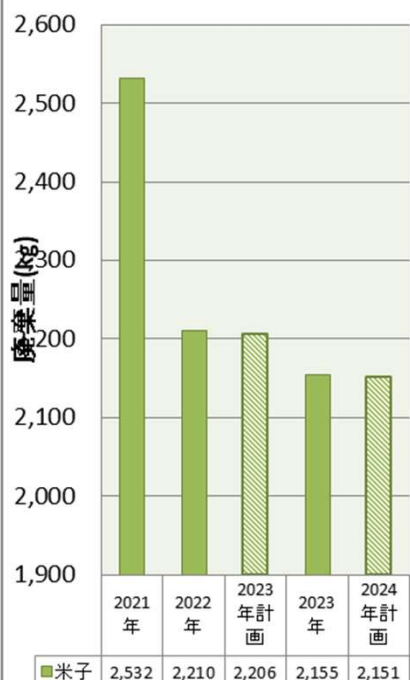
一般廃棄物削減 本社



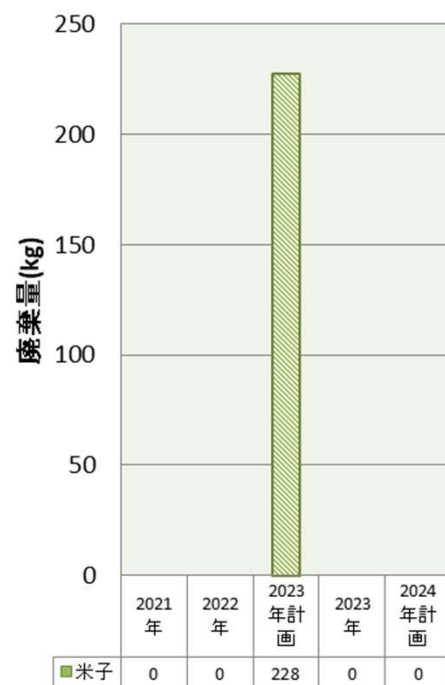
一般廃棄物削減 米子



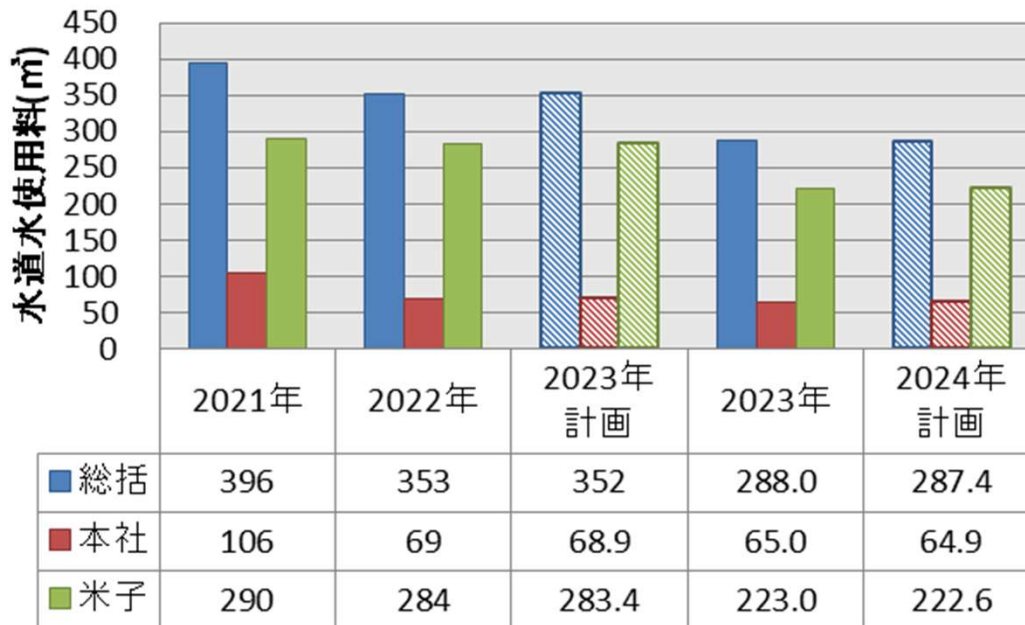
金属くず削減 米子



産廃の削減 米子



水道水の削減



地球に優しく カラダに優しく



私たちが出来る、
小さな努力です

COOLBIZ
夏は28℃で

WARMBIZ
冬は20℃で



株式会社金ダイス研究所



エコドライブ10

1. ふんわりアクセル「eスタート」
2. 加減速の少ない運転
3. 早めのアクセルオフ
4. エアコンの使用を控える
5. アイドリングストップ
6. 暖機運転は適切に
7. 道路交通情報の活用
8. タイヤの空気圧を定期的にチェック
9. 不要な荷物は積まずに走行
10. 駐車場所に注意



株式会社金ダイス研究所

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。	
適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙屑・木屑・繊維屑等)、産業廃棄物(金属屑・廃プラ・廃油等)
水質汚濁防止法	貯油施設の事故時の対応と届出
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理・回収・破壊の工程の確認 空調機の簡易点検・定期点検の実施
浄化槽法	定期点検・水質検査
労働安全衛生法	特定化学物質第2分類物質「コバルト及びその他無機化合物」 ・作業主任者選任　・作業環境測定 ・健康診断　・発散抑制装置 粉じん防止規則 ・粉じん濃度の測定　・健康診断
2024/5/31に遵守評価の結果 環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示　実施日：2024年5月31日

本社の数値設定に関して、基本的に古い設定が残っているような感じです。またシュレッダーの紙を廃棄物で加算していると思います。この紙については工場に持込資源ごみで処理しているので重量チェックは注意してください。本社、工場において数値目標等がかなり古くなっているため、改めて設定する必要があると思います。また環境マネジメントシステムを深く理解していかにはマネジメントにつなげていくかを考えなければなりません。一番の問題は生産性向上のために何を行うかです。マンパワーの増強は当然ですが、生産ロスの削減、運送費削減、梱包資材削減等々考えることはあるはずです。次年度そのあたりをしっかりと見極めて行きましょう。更に、経営指針書の年度課題を解決することが企業価値向上につながるため、EA21での運用を検討します。

変更の必要性

- ・環境経営方針：変更が必要（企業価値向上に関わる方針を追加）
- ・環境経営目標：変更が必要（環境経営方針の変更に伴う変更）
- ・実施体制：変更あり（管理責任者の統合）

社内改善



業務効率化の為、超硬の管理棚を米子に移動しました。



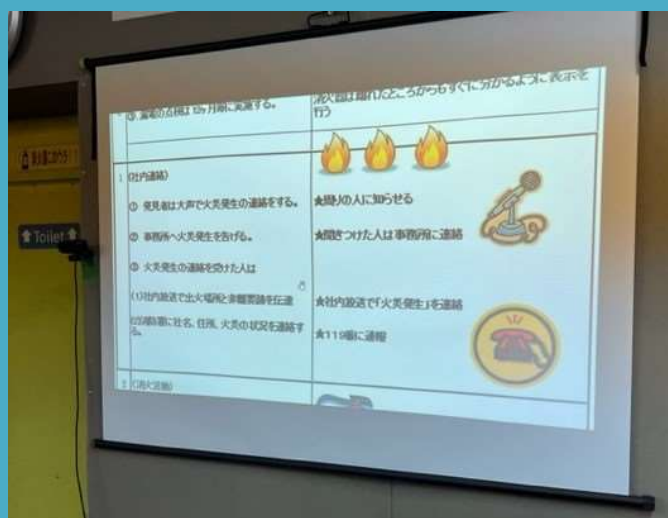
経理部のドアダンパーの取替を行いました。

3Mとは：3Sの進化型で、ムダ・ムリ・ムラを減らすための活動です。

本社 火災訓練



火災時対応マニュアルの確認および
火災を想定しての訓練を行いました。



2023.9.29
環境測定
コバルト及び粉じん



2023.10.11 2024.3.27
団地一斉清掃

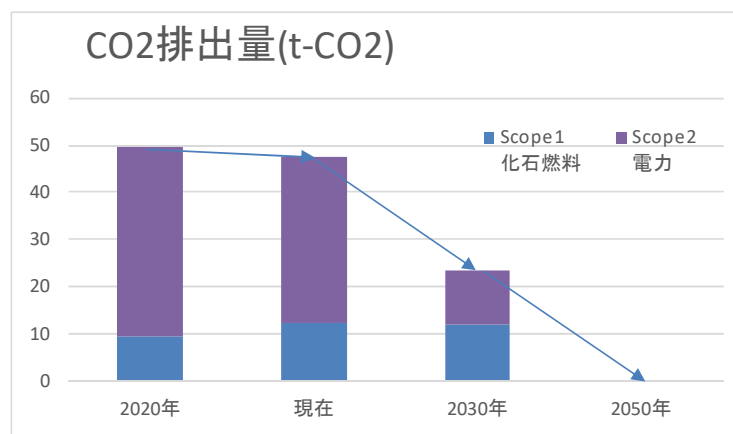
- * 団地一斉清掃 自社周辺市道、側溝清掃
- * 団地一斉清掃 参加要請
- 第一回目10/11 第二回目3/27
- ・10/11 自社周辺市道と側溝清掃
- ・3/27 会社周辺の側溝

※写真撮り忘れの為、データの記載をしています

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位 t-CO2

	Scope1 化石燃料	Scope2 電力	対 策
2020年	9.5	40	
現在	12.3	35.3	省エネ+ハイブリット車+再エネ電力
2030年	12	11.6	省エネ+再エネ電力 (CO2排出量ゼロの電気を50%購入)
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。